

事業名称		達成状況の評価
事業名	県営中山間総合整備事業	A
整理番号	23-5	目標を完全に達成した。(達成割合100%)
事業の種類	ほ場の整備	
市町村名	上田市	
箇所名	(殿城地区)上田市殿城	
事業年度	平成23年度～令和2年度(令和2年度分)	
		配慮した項目 24 = 100%
		配慮する全項目 24
事業概要		
目的	急傾斜地の狭小で不整形なほ場の区画整理を行い、農作業の機械化による営農労力の節減と担い手農家の経営規模拡大を図る。	
事業概要	区画整理工 A=22.7ha	
関連する事業計画		
その他特記事項	特になし	
関係法令等の規制		
自然環境保全地域等の指定状況	なし	
土地利用規制の状況	農地法の農地または採草放牧地 農振法の農業振興地域	
その他	なし	
自然的環境要素	環境配慮の方針	環境配慮の実施内容 (環境配慮の方針と異なる場合はその理由)
大気環境	【大気汚染の防止】	
	・排出ガス対策型の車両や機械を採用する。	適正に実施
	・資材等の運搬ルートは、居住系地域内の走行は出来るだけ避ける。	適正に実施
	【騒音、振動の防止】	
	・低騒音・低振動型の建設機械を採用する。	適正に実施
	水環境	【水質汚濁の防止】
・水道水源、貴重な動植物分布地、取水地点及びすでに汚染が著しい地域等への排水を出来るだけ避ける。		適正に実施
【水循環の保全】		
・水田や地下水・湧水を保全する。		適正に実施
地形・地質	【環境の保全上重要な地形・地質の改変の回避】	
	・地域の特性を形成する重要な地形・地質の改変を出来るだけ避ける。	適正に実施
	【改変面積の最小化】	
	・地形の改変の少ない位置・ルート・工法を選定する。	適正に実施
	・工事施工ヤードの設置は必要最小限の面積とする。	適正に実施
	・法面の勾配の検討、適切な崩壊防止工法の選定、排水工、緑化工等により、崩壊その他の危険性を防止する。	適正に実施
野生動植物	【野生動植物の生息・生育空間の保全】	
	・回避措置を基本とするがそれができない場合は、重要な植物を生育適地へ移植する又は生育地を創出し移植する。	適正に実施
	・回避措置を基本とするがそれができない場合は、重要な動物を生息適地へ移動させる又は生息環境を創出し移動を促す。	適正に実施
	【動物の繁殖期における影響の低減】	
	・重要な動物等の繁殖期、産卵期の工事を出来るだけ避ける。	適正に実施
景観	【すぐれた景観の保全】	
	・主要な景観資源の改変を出来るだけ避け、影響を及ぼすおそれがある場合は修景に努める。	適正に実施
	【良好な景観の育成】	
	・周辺地域の環境との調和に配慮した施設の配置・規模・形態・意匠・色彩・素材等を検討する。	適正に実施
自然とのふれあい	【自然とのふれあい空間の創出】	
	・河川、水路などの暗渠化は避けるよう努める。	適正に実施
文化財等	【文化財等への配慮】	
	・原則として史跡・名勝・天然記念物の指定地内への立地は避ける。また、史跡等の周辺や埋蔵文化財を包蔵する可能性の高い土地への立地を出来るだけ避ける。	適正に実施

自然的環境要素	環境配慮の方針	環境配慮の実施内容 (環境配慮の方針と異なる場合はその理由)
廃棄物・ 建設残土	【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】	
	・建設副産物の発生を抑制する施設配置、線形、工法、資材などの採用に努める。	適正に実施
	・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。	適正に実施
	【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】	
	・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。	適正に実施
	【資源の有効利用】	
	・再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用に努める。	適正に実施
・信州リサイクル認定製品の利用を推進する。	適正に実施	
省資源・ 省エネルギー・ 温室効果ガス	【環境への負荷の少ない機械の利用等】	
	・低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。	適正に実施
	・アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。	適正に実施
	・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。	適正に実施